

平成29年度
第1回北杜市芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会

日時 平成29年4月12日（水） 午後1時30分～午後3時35分

場所 北杜市役所 西会議室

出席者 協力金寄附者（サントリー株式会社） 枝木秀行
地域団体代表者（地域委員会代表） 鈴木今朝和
スポーツ団体代表者（体育協会代表） 萱沼鉄男
学識経験者（芸術関係学識者） 中澤明子
学識経験者（芸術関係学識者） 萩原英二
学識経験者（芸術関係学識者） 船木良
市長が認める者（教育長） 堀内正基
市長が認める者（教育部長） 井出良司

欠席者 文化団体代表者（文化協会代表） 白砂勇

事務局 生涯学習課長 小尾正人
生涯学習課社会教育担当リーダー 平井伸一
生涯学習課社会教育担当 高柳直哉

議事 (1) 平成29年度の基金活用事業の検討について
(2) その他

公開・非公開の別 公開
傍聴人の数 なし

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会設置要綱について
5. 委員長、副委員長選出

(事務局) 検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、委員長は委員の互選で定めることを検討委員会に諮る。

(委員) 事務局で腹案ありますか。

(事務局) 昨年度、副委員長であった中澤委員にお願いしたいと検討委員会に諮る。

(全員) 異議なし。

(事務局) 副委員長ですが、委員長が指名するとなっていますので指名をお願いします。

(委員長) 学識経験者の萩原委員にお願いしたい。

(全員) 異議なし。

6. 委員長あいさつ

7. 議事

- (事務局) 北杜市芸術文化スポーツ振興基金活用検討委員会設置要綱第6条第1項の規定により、委員長が議長となることとなっていますので進行をお願いします。
- (議長) 第1号議案「平成29年度の基金活用事業の検討について」を事務局からの説明を求めます。
- (事務局) 資料「活用事業一覧表」及び審査資料「活用事業申請書」を基に、補助金交付申請団体への交付額事務局（案）等を説明する。
- (議長) 過去の検討委員会で清里フィールドバレエと大泉で開催する能体験事業については、補助金交付事業ではなく、多くの子どもたちに鑑賞してもらうために市でチケットを購入し、希望者に配布する推進事業に切り替えていますので補足します。大泉の能事業については、基金使用金額が0円ですが理由を教えてください。
- (事務局) 昨年度は、公演50回記念として東京都内で通常の公演とは違った形でイベントを実施しました。今年度については、記念公演を一区切りとして現在は活動を休止しています。今後の予定も未定と聞いています。
- (委員) 昨年度の陸上教室の参加人数が少ないが、今年度多く参加できるよう改善してもらいたい。
- (事務局) 講師の日程調整やスポ少活動の関係で思ったより参加者が少なかった。今年度は関係部署とも協力し多くの方に周知、参加をしてもらうようにしたい。
- (委員) 陸上教室は、子供向けの事業であるが、陸上関係者の大人の参加は可能ですか。
- (事務局) 大人の参加要望があれば対応したいと思います、体験後には参加者による指導の場を設けていきたい。
- (委員) 申請団体の中で長く補助金の交付を受けている団体は把握しているか。
- (委員) 資料一覧表の中の交付実績額の欄に記載してありますので参照をお願いします。
- (議長) 申請団体の事業に対して、可否及び交付額の審議をしたいと思います、昨年からの委員もいますので、実際事業を検証した結果も踏まえながら意見等をお願いします。私は、武川で開催されたジャズのイベントを検証しました、寺の本堂が会場でしたがかなりの集客があり、熱気のこもったコンサートでした、市民の方も多く参加していました。
- (委員) フィールドバレエは市内の小中学生やその親御さんなど多くの方が鑑賞していました。
- (委員) 番号2のポールラッシュコンサートは生誕記念イベントで、今年度限りと思われるので認定していいと思います。番号6のテニス大会では全国からトップレベルの子どもたちが北杜市に来ることは魅力的です。金額に関しては、昨年と同額でもいいと思います。

- (議長) テニス事業については、昨年市民の参加がなかったと報告があります。理由はわかりますか。
- (事務局) 昨年の実績報告の際に聞き取りしたところ、大会当日参加の選手のレベルがとても高く、地元の子どもには依頼をしたが断られた。
今年度も参加が出来なくても、全国レベルの大会を観戦してもらうだけでもテニスの魅力が伝わると思い申請を受理しました。
- (委員) 番号1の劇団事業については、東京の劇団は来るが、具体的な事が申請書には記載がないが。
- (事務局) 昨年教育委員会主催事業で公演していただいた劇団です、事業内容は東京都内に多くある発表の場がない小劇団に対しても活躍の場を提供し、市民の皆様に鑑賞してもらう内容です。
- (委員) 新規事業について、今後継続していく意向はあるのか。
- (委員) 番号7の事業については、何年も前から活動している、今回は基金を使った補助金制度を知って申請したと聞いている。
- (委員) 新規事業の扱いは、今後継続してもらうためにも可とすべき、また、事業を委員で検証し判断していければと思います。
- (議長) 過去の検討委員会では継続して交付を受けている事業には交付せず、新規事業には優先して交付をすべきとの意見もあった経過があります。
- (委員) 募集要項に沿って申請している、交付しない団体には、しっかりとした理由を相手に伝えなくてはならない、過去に交付をしなかった団体がありますか。
- (事務局) 事業内容が趣味的な要素が強いものは交付しなかったことがあります。
- (委員) 資料一覧表の事業は募集要項に沿った内容で申請を受理している、例えばテニス事業を例にすると、昨年度市民の参加がなかったので今年度は参加をお願いするなど条件を付け交付してみてもどうか。
- (委員) 事業終了後提出する実績報告書で検証する必要もある。
- (議長) 数年前から交付団体にチケットを依頼し、委員が実際に事業を体験・鑑賞して検証することになっている。
- (委員) 交付決定後、金額の変更はあるか。
- (事務局) 交付決定後に増額することはない、収入額の増額や対象経費の減額等で団体の自己負担額が減額する場合には、交付金額を減額する場合があります。番号11は昨年事業の一部が開催できなかったが収入は見込み通りあったため、決算が黒字となり交付額を0円に変更しました。
- (委員) 昨年交付している団体の金額は、昨年と同額でもいいと思います。

- (議 長) 新規の団体も含め全ての団体を認定したいが、交付額については、引き続き審議していただきたい、番号11は昨年度実績では決算が黒字となったので自立できていると判断してもいいのでは。
- (委 員) 北杜市において一流に触れてもらうのが本来の趣旨です、先程から審議しているテニス事業ですが、全国のトップレベルのジュニア選手のサーブなどを目の前で見ることで、将来プロになりたい子どもが出てくることを期待するならばいいと思います。今後一流に触れてもらうために、あらゆる事業を対象とするなど、北杜市として筋が通ってればいいと思います。民間団体の事業については委員で検証して判断することでいいと思います。北杜市として基金の使い道の方向性を決めることも必要になってきている。
- (議 長) 今後、民間団体からの申請の件数が増えることも考えられます、交付予算額の大幅な増額は出来ないことを考えると、北杜市としての方向性や継続して交付している団体の扱いなど検討していく必要があります。事務局案の交付額が昨年より増額した団体は同額にして、差額をその他の団体に配分する案はどうか。
- (委 員) 事務局案の配分額は、根拠が明確で公平で賛成です。議長が提案した案については根拠は不公平感がある。
- (委 員) 様々な意見等が出ましたが、公平性を優先した事務局案に賛成です。事務局案の配分額の合計は端数の関係で予算額と一致しないが、残金を次年度に繰り越すことができるか。
- (事務局) 不用額として基金の積み立てに戻します。
- (委 員) テニス事業の団体に限らず、市民が観戦することでも一流に触れることになる、市民の観戦及び来場者数の把握を引き続き依頼してもらいたい。
- (議 長) 様々な意見等いただきありがとうございます、交付額については、審議した結果公平性のある事務局案で決定したいがいかがですか。昨年黒字となった団体についても、今年度の予算書では自己負担額が生じるため、交付額は事務局案としてよろしいですか。
- (全 員) 異議なし
- (議 長) 第2号議案「その他」に移ります。事務局及び委員の皆様、提案事項等ありますか。
- (事務局) ありません。
- (議 長) 無いようですので、議事を終了します。ご審議ありがとうございました。

8. 閉会（副委員長）

終了時間：午後3時35分